



農業経営支援課  
石川 顕史

米づくりは  
苗半作!!

米



## 生育ステージごとの最適管理を行いましょう！

### 出芽時の温度管理に注意

出芽温度が32℃を超えると高温障害や徒長苗の原因となります。

- ①高温になりそうな好天日は、早めに換気し、ハウスやトンネル内の温度上昇を防ぎましょう。
- ②低温時は、遮光資材を使わず、保温用シートをベタ掛けするなどハウスやトンネル内の温度管理に努めましょう。
- ③温度計は育苗箱のふちに置かず、必ず床土の温度を測るようにしましょう。

### シルバーポリトウの除去はタイミングを逃さずに

被覆期間は7～10日程度を目安とします。シート除去の遅れは徒長苗の原因となります。シルバーポリトウは断熱性があるので、トンネル内は異常高温にならず換気の必要はありませんが、緑化期間は換気を行う方がより良い健苗を得られます。

※シルバーポリトウの使用は4月下旬以降の播種を対象としています。

### 適切な水管理

緑化期（1.5葉期）までは、1日1回午前9時以降にかん水を行いましょう。硬化期（1.5葉期以降）は、午前1回と午後3時までにもう1回行います。

※夕方のかん水は、温度低下や夜間の呼吸を妨げるので避けましょう。また、曇天や雨天時は極力かん水を控え、床土が過湿状態にならないようにしましょう。

### 毎年ある育苗失敗例及びその原因と対策

- ①発芽不良・不揃い…種子消毒時の浸種や催芽不足、覆土が厚い、播種むら等。

#### 液肥を3日置きにかん注

- ②育苗中に病気発生…種子や資材消毒の不徹底。

#### 播種時または発芽後にタチガレエース液剤散布

- ③むれ苗症状発生…発芽後、4℃以下の低温になった次の日の天気良く、高温になり、蒸散が盛んになると発生。

#### 日中は25℃以上、夜間は5℃以下にならないよう温度管理に注意。

※むれ苗症状とは、葉が急に巻き、蒸れてよれたようになります。給水しても葉は広がらず、地上部が枯れていきます。それ以前に根が腐り、容易に引き抜けるようになる症状で、進行すると苗立枯病となります。

- ①②に関しては、播種時または発芽後にタチガレエース液剤を散布することである程度予防が可能です。予防剤なので症状が出る前に使用しましょう。